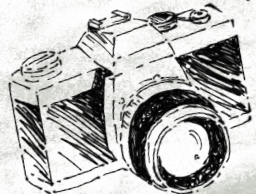


カメラ
だより練習の成果を
市内各所(4月13日から)

市内の施設や中学校で開催されている刈谷市長杯総合体育大会。中学生の部では、11種目の競技で多くの生徒が日頃の練習の成果を発揮しました。市体育館で行われた弓道の試合では、張り詰めた空気の中、生徒たちは真剣なまなざしで矢を放ちました。富士松中学校ではソフトボールの試合が行われ、どのチームも笑顔を忘れず、攻守ともにチーム一丸となって勝利を目指しました。

地域のつながりを大切に
市内幼稚園・保育園(4月18日)

(株)豊田自動織機の大卒新入社員による奉仕活動が行われました。地域社会への関心を深め、一人一人が社会貢献の担い手になれるようにと、平成23年度から始まり今回で9回目。小垣江東幼稚園には10人が赴き、草取りやペンキ塗りなどを行いました。新入社員の一人は「自分の活動が地域のためになるのはとても気持ちがいい。早く会社の力になりたい」と力強く話しました。

笑顔であいさつ よろしくね
小垣江東小学校(4月22日)

今年で2回目、新入生にとっては初めての小垣江東小と刈谷特別支援学校との出会いの会。ふれあいタイムでは握手やハイタッチをしながら自己紹介、交流を深めました。中には手話を使いながら、コミュニケーションを取り合う場面も。最後に両校の校歌を全員で歌い、特別支援学校の児童生徒の退場を東小の児童が見送りました。

どこまでも飛んでいけー！
亀城小学校(4月27日)

刈谷少年少女発明クラブ主催で行われた紙ヒコーキ大会。小学生から中学生までの144人が飛行距離を競いました。学年によって紙飛行機の形状は異なりますが、その日の最高飛行距離は25m86cm。飛行機が遠くへ飛ぶたびに会場では大きな歓声があがりました。参加者は「作るのも飛ばすのも楽しかった」と笑顔で話しました。